



原子力防災のシンポジウムを開催しました！

昨年11月25日（土）に、『レジリエント社会・地域共創シンポジウム 日本一の原子力立地 福井県における防災危機管理XI「原子力防災の現在」』を開催しました。原子力防災への関心が年々薄れてきているという現状を受け、原子力防災意識の向上を目的としてこのシンポジウムを対面とオンラインのハイブリット方式で実施し、70名の方にご参加いただきました。

今回のシンポジウムでは、内閣府参与の野島氏から原子力防災の現在について講演、敦賀市立看護大学の山崎教授から看護現場における放射線教育の現状の講演がありました。

当研究所の安田教授からも東日本大震災・福島第一原子力発電所事故から12年の間に進んだことや次世代の育成について講演があり、10月20日、21日に行われた福井県原子力防災総合訓練を見学した福井大学医学部附属病院高度被ばく医療支援センターの坪田副看護師長、小川看護師からの発表、外国人避難訓練・広域避難訓練に参加した学生から、訓練の概要、現在の取り組みや課題点の発表がありました。参加者との質疑応答では活発な意見交換が行われ盛況のうちに終了しました。

参加者からは「自分の周りから正しい知識をもち備えることを伝えていけたらと思った」、「若い世代にもっと『原子力災害に関すること』を広めていかなければいけない」等のご意見をいただき、原子力防災意識向上の一助になりました。



敦賀市立看護大学/山崎教授



訓練に参加した福井大学/学生

※レジリエント社会・地域共創シンポジウム は令和3年度までは防災シンポジウムとして開催されていたものです。

新入生研修会

昨年12月22日（金）、機械・システム工学科原子力安全工学コースの1年生及び3年次編入生を対象に新入生研修会を実施しました。

関西電子ビーム株式会社を訪問し、会社概要や加速器の説明を受けた後、操業中の建屋内を見学しました。次に、関西電力美浜発電所PRセンターを見学し、美浜発電所の設備及び緊急時の対応などをVRゴーグルで視聴しました。その後、敦賀キャンパスで大学院生達と交流を行い、有意義な日を過ごしました。



関西電子ビーム株式会社で説明を聞く参加学生



関西電力美浜発電所PRセンターの前で記念撮影

PICK UP!!

今回は、副所長の福元教授をご紹介します。



名 前：福元 謙一
出身地：福岡県
趣 味：実験（電子顕微鏡での観察）
好 物：温めの爛（かん）あぶったイカ
座右の銘：「諦める」は「明きらむ」
研究テーマ：原子力材料科学・工学

子供の頃から、エネルギーの問題に関心があり、特に原子力分野に興味を持っていました。今でも研究において発見したり考えさせられることがあるので、探求し続け、可能な限り多くの発見をしたいと思う今日この頃です。これから数百年先のことを考えて、原子力発電の平和利用や核融合炉などの新エネルギー開発は取り組まなければならない課題です。若い人たちの原子力利用研究への参加をお待ちしています。